

職務経歴書

2023年1月17日現在

氏名 チョク

■職務要約

大学を卒業してから約8年間、小学校講師として働いた後、教員採用試験に合格して約7年間、小学校教諭として働きました。全部で5つの小学校で学級運営や教科指導などに携わり、児童の学力向上やなかま作りなどに取り組みました。特別支援学級担任として、障がいをもつ児童が安心して学校生活を送れるように、保護者の思いや願いの聞き取りを大切にしました。校務分掌では、研究主任、教務主任、生徒指導主任、体育主任、PTA、情報担当など、学校全体に関わる校務分掌を何度も担当しました。また、後輩教育にも注力し、新任教師や教育実習生の指導にもあたりました。

■職務経歴

2008年4月～2016年3月 公立小学校講師	2016年4月～現在 公立小学校教諭
事業内容：公立小学校 生徒数：755人	講師・正規職員として勤務
2021年4月～現在 ○○市立○○○小学校	
2016年4月～2021年3月 ○○市立○○○小学校	
2015年4月～2016年3月 ○○市立○○○小学校	
2011年4月～2015年3月 ○○市立○○○小学校	
2008年4月～2011年3月 ○○市立○○○小学校	
【業務内容】 <ul style="list-style-type: none">・学級運営（担任13回、専科2回経験）・教科指導（授業の計画・実施、テスト作成・採点、教材・教具作成など）・教科外活動（児童会運営、学校行事運営、生徒指導、会計など）・委員会活動（司書教諭として、図書委員会における活動の実施）・研究主任（校内研修を計画・運営など）・教務主任（時間割の作成、職員との連携・調整など）	
【学級運営での実績・取り組み】 <p>主に5・6年生の担任として児童への教科指導や学級運営をしました。安心できる学習環境や考えを深め合える人間関係の中で、「わかる」「できる」が実感できる授業づくりを行いました。児童の主体性を大切に考え、子どもたちが自分から学校遊びを開催したり、雨の日の読み聞かせ会を開いたりするサポートをしました。</p>	
【教科指導での実績・取り組み】 <p>働くことの楽しさや大変さを実感するとともに、将来の夢や目標をもち、実現に向けて取り組む態度の育成を図ることをねらいとして、物作り販売体験を企画しました。地元の伝統工芸士を招聘して教わりながら、子どもたちは心を込めて物を作り、道の駅で販売しました。相手のことを考えて、物を売ることの大切さを実感することができました。</p>	
【研究主任での実績・取り組み】 <p>1年間の研修計画を立て、教職員全員が同じ方向を向いて進められるように研修の運営をしました。人権教育カリキュラムの作成・検討、日常的ななかまづくりに力を入れ、子どもたちがお互いの生活や考えを知り合うための取り組みを進めました。1年間の取り組みを通して、教職員の一人ひとりが「この1年間自分たちは何をしてきたのか」ということを、自分自身に問い返すとともに、来年度以降への展望をもつことができました。</p>	
【教科外活動での実績・取り組み】 <p>学年の会計を約5年間担当しました。会計伝票の管理や、出納簿を正確に計算することで、まちがいが1度もなく提出できたほか、提出期限の1週間前にはいつも作業を完了することができました。</p>	

■活かせる経験・知識・技術

- ・研究主任として教職員の学びを主導していくなどの企画力
- ・相手の立場に立って物事を考え、さまざまな価値観の人々の思いを受け止める理解力
- ・教務主任として教育課程の編成や、各学級の時間割作成をするなどの調整力
- ・教科指導や学級運営など、自ら考え学習していく力

■PC スキル

Word	ビジネス文書作成（報告書・提案書・見積書など）が可能なレベル
Excel	SUM、AVERAGE 関数、IF 関数を使用した数式作成が可能なレベル
PowerPoint	スライドショーの設定・実行、プレゼン・提案資料の作成が可能なレベル
Canva	写真・画像の作成や編集、図解資料の作成が可能なレベル
Premiere Pro	カットや BGM 挿入、色調補正など基本的な動画編集が可能なレベル

■資格

普通自動車第一種運転免許	2007 年 8 月取得
小学校教諭一種免許状	2008 年 3 月取得
司書教諭	2008 年 3 月取得

■自己 PR

<課題を解決に導く提案力>

研究主任として、高学年の学力を分析した結果、全国の平均点数と比べて伸び悩む問題があることが分かりました。学校全体で共有し、子どもたちの「強み」と「弱み」を把握した上で、自分たちの授業改善に生かしていく方法を話し合いました。具体的には、読書活動を充実させたり、天声子ども語の視写をさせたり、語彙を増やす活動を充実させました。その結果、半年後に高学年の学力を再度分析した結果、伸び悩んでいた問題の正答率が全国の平均点数よりも上がり、「弱み」を克服することができました。

<早い段階から ICT 授業を開始>

情報機器が整備される以前から、実物投影機やデジタル教材、iPad 等を有効活用した授業改善に取り組みました。映像に書き込みできるプロジェクターを自費で購入し、児童のやる気を高め、理解を深める授業を行いました。また、学校全体がタブレットを使った ICT 授業を計画できるように、各教室の ICT 機器を整備したり、ICT 機器を活用した授業事例集を作ったりしました。早い段階から、授業の中に ICT 機器の活用や体感的な活動を入れることができ、1人1台タブレットが導入された際も、スムーズな授業への導入と活用を実現しました。

以上